



特定非営利活動法人 ニンジン

【JICA 草の根技術協力事業】

モンゴル 障害児療育・教育支援および療育関係者育成事業

プロジェクト実施期間:2016年9月～2019年8月

ウランバートル市内の2つの障害児療育・教育グループにおいて、家族や療育関係者による療育・教育支援モデルを構築することを目指して活動しています。

(療育関係者とは次のような職種を含みます:理学療法士、ケースワーカー、心理士、看護師、保育士、教師、家庭医、学生、市民ボランティアなど)

私たちニンジンは、2003年の設立以来、モンゴルの障がい児を支援する事業を行ってきました。これまでに、モンゴルの障がい児(者)に届けた使用済み車いすは500台にのぼります。また療育・教育・行政の専門家をモンゴルに派遣し、モンゴルの障がい児の現状を知り、アドバイスを行ってきました。その中で、モンゴルでは障がい児を対象とする施設と人材が不足し、障がい児を育てるための情報と技術が少ないことがわかりました。そこでニンジンでは、モンゴル障がい児親の会と連携して、障がい児を支えるために必要な知識と技術を障がい児に直接関わる人々に伝えることに重点を置くようになりました。日本とモンゴルでは、言語、医療、教育、文化など様々な違いがありますが、両国の交流が益々増え、障がい児と家族が生き生きと暮らせることを願い今後も活動していきます。



理事長 城 良二

【プロジェクト対象施設】



■ ゲゲーレンセンター

責任者: Ms.Uyanga Tseveen

住 所: Ulaanbaatar, Chingiltei district, 16th khoroo, 46-506a

Facebook: Chingeitei Gegeelen Tuv



■ サインナイズセンター

責任者: Ms.Jamiyan Altantulkhuur

住 所: Ulaanbaatar, Bayanzurkh district, 17th khoroo,

Erdenetolgoi 35-924

Facebook: Сайн Найз

【事業内容】

1. ゲゲーレンセンターとサインナイズセンターの障害児の家族が療育・教育を実践できるように、両センターとNPO ニンジン草の根チームが、家族に以下の活動を指導しています。

(1) 療育

年 3 回、医師、PT が訪問して、家族からリハビリの相談を受け、子どもを評価して、運動発達を促す方法や補装具の正しい近い方の指導と食事指導を行っています。

個別指導



グループ体操と運動遊び



(2) 教育

年 3 回、元障害児学校の教員が訪問して、教育指導をしています。

1 年目は日本での豊富な教材を使って算数指導を行ってきました。

2 年目からは、身辺自立指導も取り入れています。



(3) 読み聞かせ

両センターに絵本を 100 冊寄付しました。モンゴルでは親が子どもに、絵本を読み聞かせる習慣がなかったようですが、現在は親やスタッフが読み聞かせをし、子ども達は喜んで聞くようになっています。



ゲーゲンレンセンター



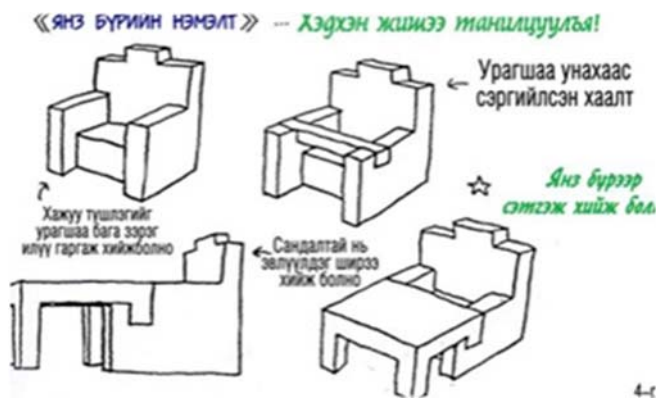
サインナイズセンター

(4) 草の根の日

2017年10月から、2つのセンターでは親子が毎週土曜日に集まって、草の根事業で習った療育・教育活動をしています。月1回草の根の現地補助員が参加します。

ランチをはさんで、午前と午後のプログラムです。

また、脳性麻痺児が座って遊べる牛乳パック椅子と机をお母さんたちが手作りしています。



牛乳パック椅子



シーツパタパタ遊び



スタッフと学習



風船バレー

(5) 障害児親の会セミナー

障害児親の会の協力を得て、障害児の子育ての課題について医師が講義を行い、話し合います。ウランバートル市に限らず、地方からの参加者も歓迎しています。



2017年9月には、整形外科医が「脳性麻痺児の下肢変形と治療」のセミナーを行い、家族からの熱心な質問に答えました。

(2017年9月撮影)

2. 療育関係者が療育について学び、地域や職場で子どものニーズに合わせた療育を実践できるようになることを目指します。

(1) 療育者養成セミナー

療育関係者が脳性麻痺児の家庭療育を家族に指導できるようになるため、PTが講義を行い、サインサイズとゲゲーレンセンターをフィールドとして実習指導を行っています。



2017年6月 療育者養成セミナー
デモンストレーション

受講生の前で、母親へ首の座りが不十分な子どものだき起こし方を、どのように教えるか、PTが示しています。

(2) 家庭医・看護師セミナー

バヤンズルフ区とチンゲルティ区の家庭病院のスタッフを主な対象としています。

家庭病院が、乳幼児健診を通じて障害のある子どもを発見し、母子センター等の専門医と提携して、地域の障害児の子育てをバックアップできるようになることを目指しています。



2017年3月に、モンゴル国立リハビリテーションセンターで、小児科医が母子手帳の活用法について講義をした後、両センターから活動報告をしました。PTは「脳性麻痺児子育てガイドブック(姿勢編)」及び「障害児の子育てハンドブック(食事編)」の作成目的と活用法について講義しました。



2017年9月には、整形外科医師が「家庭医のための小児整形外科」「脳性麻痺の基礎的な知識」について講義を行いました。



PTは、3月のセミナーに継続して、「ガイドブックの活用法」をデモンストレーションを交え講義を行いました。

3. 障害児療育・教育が 2 つの障がい児療育・教育グループで継続的に実施されるために、療育関係者の連携体制作りを目指します。

- 国立リハビリテーションセンター
- 国立第 10 幼稚園治療保育園
- 家庭病院
- 労働社会保障省
- 保健省
- その他



2018.4.24 労働社会保障省事務次官と面談

【連絡先】

NPO ニンジン 草の根事業プロジェクトマネジャー 梅村 浄

メール: gengoro2012@gmail.com 電話: 090-7216-1704

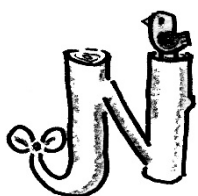
NPO ニンジン 草の根事業モンゴル連絡先: チメゲー ダムチャー

電話: +976-9990-2458

ニンジン草の根事業 Facebook: [Ninjin Ө ВСНИЙ Ү НДЭС Ө Ө Л](#)

□ プロジェクトメンバー

担当	
プロジェクトマネジャー	梅村 浄 (小児科医)
療育担当	諸石 真理子 (理学療法士)
教育担当	野口 陽子 (元養護学校教員)
就学前教育担当	松本 直子 (幼稚園教諭・保育士)
セミナー担当	城 良二 (整形外科医)
経理担当	鈴木 茂 (元障害者行政経験者)
文章整理担当	堤 由貴子 (理学療法士)



特定非営利活動法人 ニンジン

〒104-0043 東京都中央区湊 2-16-25-202

TEL/FAX 03-3553-7056

ホームページ <http://www.ninjin-npo.org>

(2018年9月作成)